



女傑・広岡浅子 ①

地域史研究者
三善貞司

女性の社会的地位向上

前時代的な商慣習に反旗翻す才女、浅子

加島銀行を設立し、大同生命の創業にも参加した広岡浅子は、女性の人權・社会的地位の向上にも尽力したすばらしい人物です。口先だけで主張したではありません。信念を貫いて黙々と実行し、男も及ばぬ業績をあげているのです。

彼女は嘉永2年（1849）京都の豪商三井高保の三女に生まれました。高保は三井呉服店（のちの三越）の当主で、蝶よ花よと育てられますが、当時の富裕な商家の風習で、2歳で大坂のこれまた豪商加島屋の一族広岡信五郎の許嫁にされてしまいます。

「女子を物のようにあつかう悪習で、断じて許すことはできません」
のちに浅子はこう語っていますが、本当に戦国時代の大名たちが幼児を人質としてさしだし、縁組みして勢力を伸ばしたのと変わりません。

当時は上流社会でも女性が学問に励むのは嫌われ、せいぜい和歌に書道、茶華道に琴、礼儀作法を学ばせる程度です。ところが浅子は読み書き・そろばんから、漢学にまで手をだします。

「やめなはれ。女子が孔子や孟子など習つと、屁理屈ばかり言つようになって嫌われる」
父の高保がしかると、

「父さまはじきに女子、女子と言いはるが、女子も人間です。学問するのは当たり前です」

と反発し、勝手にあちこちの学問所に通いはじめました。その賢いこと、物おぼえの早いこと。三井家のお嬢様やチャボヤしてくれた師匠たちも感嘆の声をあげます。

しかし女ひとりで生きていける時代ではありません。慶応1年（1865）16歳で、大坂の土佐堀（西区）にあった両替商加島屋の広岡信五郎のもとに嫁ぎます。

大坂の旦那衆は自ら商いの先頭に立つことはなく、たいていは気の利いた番頭たちに店を任せ、なにかあったときは報告を聞いて指図するのがしきたりでした。それでふだんは好きなこと、たとえば書画や骨董、俳句や和歌、浄瑠璃や謡曲に凝っており、金石や古銭を収集してみせびらかせたり、役者や文人を取巻きに加えて通人ぶるのが大半です。

花柳界に出入りする者も多く、なかには二号、三号と称してお妾さんを囲い、男の甲斐性やと威張っている旦那もいます。

そんな話を聞いた浅子は、新婚早々いきなり夫をにらみつけ、

「あなたにはそんな女、いないでしょうね。もしいたらこの家からすぐに出てもらいま

すから」

と言いわたします。実家に帰りますではない。あなたが出ていけと言つのです。浅子の凛とした気位の高さがよく表れています。

「おお、こわ。わしは大丈夫や」

と首をすくめる信五郎に、店の経営状態や経理の内容を問いただそうとしましたから、「まあ、そない気ばらんと、慣れるまでおいしい茶でも飲んで、うぐいすの初音でも楽しんでなはれ」

と汗だくでなだめました。

幸い信五郎は鷹揚（おおらか）なおおらか）な坊ちゃん育ちでした。三井家令嬢の顔をたて、なんでも好きなようにさせます。浅子は企業経営に必要な簿記・算術などの実学から、法律・経済におよぶ学問を学び、ほとんど書物から得た独学だけで、学者に劣らぬ知識・教養を身につけます。よほど利発な女性だったのでしょ。

加島屋は寛永2年（1625）御堂筋（現中央区）に米屋を開いたのが始まりで盛業、やがて両替商（銀行）に転じ、中国地方から九州までの西国大名に金を貸し大もつけ、大坂では鴻池と並ぶ豪商でした。

ところが明治1年（1868）幕府が崩壊し明治新政府が誕生すると、廃藩置県制度が定められ、大名たちは姿を消し、莫大な貸金はすっかり焦げついてしまいます。大阪の両替商仲間でも、天王寺屋、平野屋、和泉屋などの名高い豪商が次々に倒産し、金融界はパニック状態となりました。加島屋の貸金は9百万両と記されています。浅子19歳の時の話です。

こうなると坊ちゃん信五郎は、「浅子、どないしまひよ」と蒼くなって、おろおろするばかりです。浅子は夫の尻をたたき、夫婦で貸金のある諸藩の蔵屋敷を訪ね、逃げ回る家老や会計方重役の袖をつかみ、武士道をお忘れかと理非を説き、証文をつきつけ返済を迫ります。なんじゃ、若い女房やないかと小馬鹿にした彼らも、論語から朱子学、荻生徂徠から徳川家康の遺訓までひきあいにはず浅子の舌鋒（ぜっぽう）（責めたてる言葉）の鋭さにたじたとなって、何割かは返済しなければならなくなります。

加島屋が倒産しなかったのは、この浅子の働きが大きいのですが、明治新政府も資金がなく、国家予算も組めない。京都・大阪の豪商たちから3百万両の調達を命じますが、加島屋の割り当ては8万両もの高額でした。

広岡浅子

実業家、嘉永2年（1849）京都出身。女性の人権・地位向上に尽力。女子高等教育を唱えた成瀬仁蔵を援助し日本女子大学校を設立する。大阪愛国婦人会の指導者としても活躍。大正8年（1919）69歳没。

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

（株）ファッションビジネス・御堂筋新聞